

～ほろむい原野の原風景を目指して～

ほろむい 幌向地区の自然再生

消えゆく湿原、幌向原野

●幌向原野は都市化、農地化が進むなど、土地利用が急速に進展した一方、明治期には約104km²あった夕張川流域の湿原面積は約0.1km²まで減少しています。



● 湿原
● 樹林
● 夕張川

※北海道殖民地選定報文附図、国土地理院古地図、国土地理院地形図及び国土庁土地分類図(土壌図)をもとに作成。

ほろむい七草の危機

●かつて幌向原野に生育していたほろむい七草などの湿生植物は、現在はわずかに生育するのみとなっており、地域固有の湿生植物の生育がおびやかされています。



夕張川幌向地区では、昔の湿原を取り戻すための取り組みを行っています。

●湿生植物が育つ環境をつくっています。

●湿生植物を育成、導入しています。

●地域参加で導入した植物が成長、開花しています。



幌向湿原再生の喜び

2022年
7月10日(日)

受付 10:00～

～幌向湿原をめぐるフットパスを開催します～

プログラム

- 参加無料
- 開催場所: 夕張川幌向湿原再生地
- 午前の部 10:00～ 受付開始
開会式・挨拶
 - 10:30～ 講演「コロナ禍でのフットパス」
北海道環境生活部 eco-アカデミア派遣
トレーナー 小川 巖
 - 11:00～ 幌向湿原めぐりフットパス開始
(夕張川幌向湿原再生地～幌向湿原 約4km)
 - 12:00～ 昼食 おながい: 昼食はご持参ください。
 - 午後の部 13:00～ 「喜びの歌」 嵯峨 治彦 岡田 浩安
吉田 ユウ子 豊川 容子
 - 14:00～ 湿生植物移植体験
 - 16:00 解散

〈主催〉ふらっと南幌、石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ
〈協力〉国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部 江別河川事務所 南幌町、空知総合振興局
〈後援〉石狩川振興財団

お問い合わせ 特定非営利活動法人ふらっと南幌事務局TEL: 090-3891-6675 (近藤)



北海道の水辺の
観光情報サイト



かあたび
ほっかいどう

＜参加時のお願い＞

皆様が無事に参加いただけるようご理解とご協力をお願いします。



「喜びの歌」出演者紹介

◆ 嵯峨治彦 (サガ ハルヒコ) さん [馬頭琴の演奏と^{ホーミー}喉歌]

Y.ネルグイ(モンゴル国第一文化功労者)から馬頭琴の後継指名。

伝統音楽の継承に取り組みながら、ダンス・演劇・朗読など異ジャンルとの共演も。

おおたか静流とASIAN WINGS、EPOユニットAQUANOME、タルバガン (w/等々カ政彦)、野花南(w/嵯峨孝子)等でも活動。

2019年あらひろこ[カンテレ]とのデュオRAUMAが、アルバム「深い海」をリリース。



◆ 岡田浩安 (オカダ ヒロヤス) さん [ケーナとサンポーニヤの演奏]

アンデス音楽演奏家。日本を代表するアンデス音楽グループMAYAのメンバー。現在までに4枚のソロアルバム、MAYAをはじめとするグループとユニット、プロデュース作品等で10枚以上のアルバムをリリース。

南こうせつやKOKIAなどへのレコーディング参加、映画「生きない」(1999年オフィス北野)などの音楽製作、アルバム等のプロデュース、楽器のワークショップなど幅広く活動。葦工房、balsitaレーベル主宰。

【ブログ】<http://blog.livedoor.jp/ashikouboh/>



◆ 吉田ユウ子 (ヨシダ ユウコ) さん [歌, パーカッション, ケーナ]

1993年「ガドガド楽団」、1994年「HARD TO FIND」に参加。

1995年より「ティンクナ」のメンバー。道内外でのコンサートや常田富士男の芝居への参加など多岐に渡り活動。

HARD TO FIND、笹川敏幸の作品「TEN PLANTS 1、2」、「うたごえ愛唱名曲集」(5枚組CD、ビクター)等のアルバムやCM音楽に参加。柔らかく澄んだ歌声は定評がある。



◆ 豊川容子 (トヨカワ ヨウコ) さん [歌☆アイヌシンガー]

帯広出身。アコースティックユニットziziのボーカルとして関西を中心に活動し、2007年アルバム「door」をリリース。

北海道に帰り、自身のルーツであるアイヌ、その歌・口承文芸を取り入れ歌い始める。

夫のルーツである平取地方のイヨンノッカ(子守歌)「60のゆりかご」の歌とアニメが、youtubeで視聴できる。



フットパス愛好者様各位

特定非営利活動法人 ふらっと南幌
代表理事 近藤 長一郎

「幌向湿原再生の喜び」開催のご案内

拝啓

五月雨の候、皆さま、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、私達「NPO 法人ふらっと南幌」の活動につきまして、ご協力・ご支援を賜り、
厚くお礼申し上げます。

さて、ふらっと南幌は昨年に続き今年も湿原再生の喜びを開催いたします。
例年とは異なり、湿原植物の花真っ盛りである7月初旬に開催を合わせました（7月10日
（日））。コバギボシ、カキツバタ、ホロムイリンドウ、サワギキョウなど湿原ならではの紫
の色彩をお楽しみいただけます。

開催にあたり、新型コロナウイルス防止に遵守し、安心・安全に努めて参ります。
どうぞ、皆さんご参加ください。

令和4年6月吉日

敬具
代表理事 近藤 長一郎

